

2011 年度全日本学生 RCS (ロードレース・カップ・シリーズ) 第6戦
山形村ヒルクライムラウンド

2011 年9月11日

保坂 一彦 著

2011 年9月11日、秋晴れの中 RCS 第6戦「山形村ヒルクライムラウンド」が開催された。

このレースは、日本学生自転車競技連盟と山形村が主催する公式戦だ。RCS は1年間で12戦ほどの公式戦があり総合得点でチャンピオンが決まる。

運営は信濃山形清水高原サイクルロードレース実行委員会が行う。大会の2ヶ月ほど前に、レガルスィ・イナメを主宰する中畑清さんに会って、レースの概要を聞いた。この大会を盛り上げる仕組みがあった。中畑さんは、学生選手に加え、ご自分のネットワークを駆使して、プロや実業団の選手(登録選手)を集めていた。さらに中畑さんが主催する「イナメ・レース」が併設されている。これは選手登録をしてないアマチュア自転車愛好家に門戸を開いたものだ。このような仕組みがあるため選手層に厚みができる。これは、中畑さんの情熱と力が大きく貢献していると見た。



ところで当日の観戦だが……、

早朝はガスっていた清水高原も、レースが進むに連れて晴れ間が出て来た。

ヒート1は自宅をでたすぐの道路

(1350メートル)で。

ヒート2はカミサンとゴール地点

(1472メートル)へ。

途中、E地区の定住者高橋さんと愛犬クー別荘地を見回ってくれている竹野入さんと合流。

A地区の吉見さん夫妻も登って来た。小さ

いお子さんを連れたお母さん、若い女性の応援する姿もあった。

ヒート2が終り、選手が下った後スカイランド前の会場(1300メートル)に下る。

途中、D地区のAさん、谷口さんが家の前で応援していた、スカイランド前にはA地区の山本さん夫妻も応援に来ていた。澤田夫妻、四角さんは家を出た場所で夫々で応援していたと聞いた。

皆さん思い思いに応援していたようだ。

チェーンソーアートのジェイソンさんこと伴正史さんのパフォーマンスが、大会にアクセントを付けた。

平穏な清水高原に一陣の風を残して彼らは引き上げた。また来年、ここを若いエネルギーで満たして欲しい。待ってますよ！ 歳時記ホームはこちら<http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

